

## 第9回会議での計画案に対する委員からの意見と対応（案）

項目		意見の概要	対応（案）
第3章	基本的な視点	—	① 社会全体で支援していくことが求められている理由として、親だけで子どもを育てられるものではないといった内容を加えてはどうか。
		—	② 親になるための教育を小学生ぐらいから始めた方が良いのではないか。
第4章	基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	基本施策6 子どもが安全・安心に過ごせるまちづくり	③ 子どもの通学路について、安全な通学路の確保をお願いしたい。
		—	④ 子どもたちがボール遊びをする場所について、学校の校庭解放くらいのもので、なかなかそれがうまくいっていないのではないか。
	基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	基本施策5 ひとり親家庭の自立支援の推進	⑤ 門真市におけるひとり親家庭の占める割合について、以前聞いた数字と異なるので、一度確認していただきたい。
		基本施策6 仕事と子育ての両立のための環境整備	⑥ ワーク・ライフ・バランスの推進、女性の再就職の支援などは、企業との連携を強くすることが必要。
基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり	—	⑦ 子育てに困っている保護者自身が、自分の困っていることや、このようになってほしいというようなことを、意見として出せるようになっていけばいいと思う。	
			P2「計画策定の背景」において、親を含む家庭を社会全体で支援する理由として、核家族化の進展などにより子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化していることなどを記載。
			P52「9 次代の親の育成」の中で、子どもが親になるための支援について記載。
			今後、計画を推進していく上での参考とさせていただきます。
			今後、計画を推進していく上での参考とさせていただきます。
			P63「ひとり親家庭の自立支援の推進」のひとり親家庭の割合を、18歳未満の世帯の割合である、約3.6%に修正。 (変更前：約20%…18歳以上も含むひとり親世帯の割合)
			P65それぞれの「主な取組」において、企業など関係機関との連携を記載しており、実施に当たっては、連携・協力のもとで取り組みます。
			子ども・子育て会議をはじめ、さまざまな場面で、利用者である保護者の方のご意見をお聞きしながら進めてまいります。

項目		意見の概要	対応（案）
第4章	基本目標3 子育て家庭を地域の みんなで支える環境 づくり	—	⑧ おじいちゃん、おばあちゃんが育児に参加するということ を耳にするが、そのような取組を入れたらどうか。
第5章	地域子ども・子育て 支援事業の量の見込 みと確保方策	—	⑨ 一時預かりやショートステイについては、お母さん方のリ フレッシュのところも含めて量を出していただければと思 う。
その他	その他	その他	⑩ 特に働いている母親については、母親同士の仲間づくりが 出来ないということで、孤立するのではないかと懸念する ので、働いている、いないにかかわらずサービスが受けら れるようにした方が良い。
			⑪ 子育て家庭が、地域に自ら出ていく機会を作っていくこと や、行政や地域の施設などと連携をとっていくことも十分 に必要なようになってくるのではないか。
			⑫ さまざまな家庭があるということで、1人ひとりの家庭状 況に応じたかたちで、担当保育士も丁寧に対応するという ことが必要。
			⑬ 保育の質を維持向上していくため、研修の場も増やしてい ただいて、先生たちがもっと頑張ってもらいたいという 前向きな姿勢になれるような制度になってほしい。
			⑭ 自分で助けを求められない人たちに、どうすれば情報が届 くのかという視点を持った上で、今後の対応というものを 考えていく必要がある。
			⑮ ショートステイ、トライライトステイについて、どのよう な方にどのようなところで預かっていただけけるのかを、 事前にわかるようにした方が良い。